

生成AI・メタバースを活用した AI時代の新しい教育のデザイン

開催趣旨

生成AI等のテクノロジーの進化により、大学における学びや研究のあり方は根本的な転換期を迎えています。

本研修は、大学職員が教員や学生の活動をいかに支え、適切な環境を整備していくかを考えるプログラムです。人間とAIが協働する新たな教育スタイルや、成果物から「プロセス」を評価する方向へのシフトなど、今後の教育の潮流を概観します。

その上で、教員が教育・研究に注力できる環境づくりや、多様な学びを支援するインフラのあり方について議論し、これからの時代に求められる現場職員ならではの「支援のアップデート」を共に探求します。

対象の目安

全教職員（勤続年数にかかわらず、どなたでもご参加いただけます）

開催日時

2026年7月30日（木）13:00～16:00

会場

キャンパスプラザ京都

募集定員

40名

※ 大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学優先および先着順

※ 定員を超過したときは、参加をお断りする場合がございます。

※ 申込人数が定員を大きく下回るときは、開講しない場合がございますのでご了承ください。

参加費用・振込期限

加盟大学・短期大学 1,000円

非加盟大学・短期大学 4,000円

※ 請求書をお送りいたします。指定の口座にお振込みください。

【振込期限】 2026年7月27日（月）

※ 期日までにお振込みいただけない場合は、事前にご連絡ください。

申込方法・申込期間

【申込方法】

WEBページよりお申込みください。

<https://www.consortium.or.jp/project/sd/joint-p>

【申込期間】

2026年6月17日（水）10:00～7月17日（金）17:00

研修プログラム

【第1部：AI時代の教育・研究を取り巻く環境変化】

テクノロジーがもたらすパラダイムシフトの概観

- 生成AIやメタバース等の最新技術が、これからの大学教育や研究プロセスにどのような変化をもたらしているのか、事例紹介を行うとともに全体像を紐解きます。

【ディスカッション：現場の現状と課題の共有】

- 自大学におけるテクノロジー活用の現状や課題について、参加者間で共有します。

【第2部：教員と学生を支える「教育環境・インフラ」の整備】

職員視点での仕組みづくり

- 多様な学びを支援するシステム環境、AI利用に関するガバナンス、データ活用のあり方など、職員が主導できる環境整備について考えます。

【ディスカッション：明日からのアクションプラン検討】

- 自身の部署や組織全体で取り組むべき「支援」や「環境整備」のアイデアを参加者間で議論します。

【第3部：まとめ・質疑応答】

これからの大学職員に求められるマインドセット

- 変化の激しい時代に求められる組織間の連携や、挑戦を後押しする組織風土づくりについてお伝えし、質疑応答を行います。

講師

寺尾 健志 氏

寺尾コンサルティング

京都の私立大学で16年間の職員経験を経て、2021年より独立。

フリーランスとして、全国の大学や教育機関を中心に業務効率化支援、デジタル化支援、データ基盤構築支援、チームビルディング支援等を提供。

大学行政管理学会（JUAM）研究・研修委員、Japan Google Cloud Usergroup for Enterprise（Jagu'e'r）エバンジェリスト等の活動も行う。

東北大学特任准教授、奈良市在住。